

がん患者さんにご家族のための

ピア・サポーターズ サロンちほ

がん経験者であるピア・サポーターが「仲間」として患者さんやご家族の悩みを聞いたり、体験をお話する場です。少人数でお話しやすい雰囲気です。

申込不要
無料
出入り自由

開催日：平成30年1月12日(金)

時間：午前10時～午後3時

場所：順天堂大学医学部附属浦安病院

外来棟3階カンファレンスルーム（浦安市富岡2-1-1）

がん治療センター 相談支援室(丸山) 047-382-1341(直通)
月曜～金曜の9時から16時までにお願ひします。

お問い合わせ
せ

参加するピア・サポーターのメッセージです
(都合により参加者が変更となる場合がありますので、ご了承ください)

告知を受けたとき、治療中、再燃のとき、数々のつらいときに多くの人に話を聞いてもらって救われました。
(50代女性、悪性リンパ腫・卵巣がん)

「がん」という共通点のあることで、初対面でもなぜか気持ちが落ち着き、ホッとした時間が持てました。気兼ねなくお話ししましょう。
(70代女性、皮膚がん)

告知を受けた時の思いはいつの時代も変わらないかもしれませんが、今は話せる場があります。ここではご一緒できる仲間が待っています。
(60代女性、胃がん・卵巣がん)

人工肛門造設22年目です。その間、9回程腸閉塞を経験しましたが、日常管理を工夫して生活への支障を少なくし、マラソンやスキーを楽しんでいます。
(80代男性、直腸がん)

乳がんで全摘手術と抗がん剤治療を経験し、引きこもりの時期もありました。多くの仲間助けられ、今日も活動しています。私たちと話してみませんか？
(60代女性、乳がん)

3か月間で直腸がん転移性肺腫瘍の摘出手術を経験しました。思いわずらうと体に良くないと考え、「今日は今日、明日は明日」の積み重ねで生きています。
(60代女性、直腸がん)

がんと言われた時は、治療や後遺症、今後の生活への不安の他、職場復帰への不安は大変大きいものでした。復帰後も同僚の何気ない言葉に傷ついたり、体力低下で悔しい思いをしたり。あなたにもいろいろなことがあると思いますが、一緒にお話しすることで少しでも気持ちが軽くなると思います。
(50代女性、子宮がん)

共催：順天堂大学医学部附属浦安病院 がん治療センター「あおべかサロン」
千葉県地域統括相談支援センター 043-264-5431(内線2530)